

■亀井文夫 記録映画監督。軍部記録映画で反戦姿勢、〈敗戦〉直後も上映禁止、真実に迫りきる作品を制作し続けた。

かめいふみお

アヲヲ 創刊・1908＝ 福島県相馬郡原町で、松本長七・くまの次男に生まれる。

・戦後主要事件で名画

明治天皇役・1912＝ 4歳：

21ヶ条要求・1915＝ 7歳：仙台市南材木町の尋常高等小学校に入学。

ロシア革命・1917＝ 9歳：

本格政党内閣1918＝10歳：東京に転居し、

原敬首相暗殺1921＝13歳：早稲田中学に入学。

円本時代始・1926＝18歳：文化学院美術科に入学するが、

共産党事件・1928＝20歳：マルクス主義の影響を受け、中退して、ソ連に渡り、ウラジオストックでドキュメンタリー映画を見て衝撃を受け、画家志望から転換し、レニングラード映画専門学校に留学。

満州事変・・1931＝23歳：肺結核のため、帰国し、母の開設したサナトリウムで療養生活の後、

国際連盟脱退1933＝25歳：_{東宝}の前身PCLに入社。

芥川直木賞始1935＝27歳：

日中戦争始・1937＝29歳：陸軍省からの依頼と後援で「上海」を制作して、注目され、健保+総動員 1938＝30歳：*「戦ふ兵隊」を製作するも、うわべは戦意高揚を謳いながら、反戦・反骨を貫いたため、公開禁止となる。そのため一時退避的に、観光映画の形をとって「信濃風土記」三部作に取り組み、

大政翼賛会・1940＝32歳：その第一部として「伊那節」を制作、

日米開戦・・1941＝33歳：続いて第二部として、後に文化映画の古典的名作と見做される短編「小林一茶」を制作、さらに、戦時下に神格化された富士山の科学映画「富士の地質」を制作したため、特攻によって逮捕・投獄され、釈放後、{日本映画社}に属するうち、

年金+総武装 1944＝36歳：

敗戦・・・・1945＝37歳：*〈敗戦〉となり、侵略戦争を暴いた記録映画「日本の悲劇」を完成させ、GHQの許可は得たものの、吉田茂首相の激怒を買って、上映禁止となり、

新憲法公布・1946＝38歳：_{東宝}に復帰、山本薩夫と共同で「戦争と平和」を制作、空前のヒットとなるも、東宝大争議に愛想つかし、

新憲法施行・1947＝39歳：

三大事件・・1949＝41歳：「女の一生」を最後に、_{東宝}を去って、記録映画に復帰、

独立回復・・1951＝43歳：

TV放送始・・1953＝45歳：_「基地の子たち」、

55年体制始・1955＝47歳：株式会社日本ドキュメントフィルムを設立、

国連加盟・・1956＝48歳：_「生きていてよかった」

なべ底不況・1957＝49歳：_「流血の記録・砂川」、「世界は恐怖する」、

安保闘争・・1960＝52歳：_「人間みな兄弟」など、真実に迫りきる視点で社会問題を映画化した名作を撮影、

全国総合計画1962＝54歳：*「生きていてよかった」を見て感激したケネディ大統領から招待されるも、日本政府はビザ発給拒否。

トルショック・・1971＝63歳：

日中国交回復1972＝64歳：{ギャラリー一東洋人}を開業し、古美術商となっていたが、

石油ショック1973＝65歳：

貿易摩擦問題1980＝72歳：_畢生の大作「トリ・ムシ・サカナの子守唄」を構想、

中曽根内閣・1982＝74歳：

・・・・・1984＝76歳：製作を開始、
_病をおして

竹下内閣・・1987＝79歳：*完成させ、その直後に、没した。